

バヌアツ便り No. 5



青年海外協力隊
細川 伸夫
職種：小学校教諭



いよいよ最終号を迎えてしまいました。発展途上国の現状は厳しいものがありこの2年間、日々自問自答していました。失敗をあげるときりがありません。それでも多くの方々が私を励まし、助けてくれました。本当に自分は幸運でした。欠勤が2年間で3日間だけという数字からわかるように異国の地バヌアツ共和国でも強健ぶりを発揮することができました。思えば初代 JICA ボランティアとして活動を始め

ボクシングバヌアツ代表選手と

たとき、右も左も分からず試行錯誤の連続でした。教員、児童と意志の疎通が図れず苦しい時期もありました。それでも教員の仕事に対する取り組みの改善や児童の学力の向上を間近でみることで自分自身のエネルギーに変えながら2年間を乗り切ったというのが今の本音です。今後の自身の生活も機会平等を目指して40年ちよっとの人生を楽しみたいと思います。

活動の結果ですが、児童の学力は向上しています。少しだけ欲をいうと現地教員にはもう少し悪風



を改める姿勢をもって今後も指導にあたって欲しいというのが本音でしょうか？しかし、近道はないので自分たちの国を良くするためにも努力を忘れないで欲しいと思います。

私の帰国日は、2012年1月3日です。その後、帰国の報告、健康診断等を済ませて秋田には週末戻る予定です。温泉に入り、2年間の疲労を早めに取り除きたいと思います。しかし、働く場所はあるのか？自身2度目の協力隊参加はあるのか？結婚相手はいる

割礼式での主役

のか？等、日々いろいろな活動は続けなければなりません。雪は例年に比べてどうなのか？心配ごととはつきません。

バヌアツ共和国で二年間、活動して分かったことはこの国は本当に『世界で一番幸せな国』でした。このような国は今後巡り合うことはないと思います。また日本の良いところも再認識することができました。尊敬すること、仕事に対する取り組み等があげられます。日本人として生まれ、日本の教育を知っていることは現地での活動に多いに役立ちました。また、家族や恩師、友人、知人、職場でお世話になった方々本当にありがとうございました。皆さんがいたから私は国際貢献をすることができました。今後ご指導よろしくお願ひします。

それでは、皆さん私のみやげ話を楽しみに正月を楽しんでください。いろいろな方、音信不通で申し訳ございません。早めに携帯電話を手に入れようと思ってますのでしばしお待ちください。自宅のほうにも遊びに来てください。そのときはどうか手ぶらで。こちらからのおみやげはありますが。それでは2012年も楽しんでまいりましょう。世界で一番幸せな国から最後の便りでした。



過酷な環境で生活する子供達と